

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公表番号】特表2006-521399(P2006-521399A)

【公表日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-037

【出願番号】特願2006-509357(P2006-509357)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

M(1)受容体サブタイプを選択的に活性化する少なくとも1つの化合物の有効量を含む、神経因性疼痛の1以上の症状を軽減する為の神経因性疼痛処置剤。

【請求項2】

前記神経因性疼痛の症状が、痛覚過敏である、請求項1に記載の神経因性疼痛処置剤。

【請求項3】

前記神経因性疼痛の症状が、異痛である、請求項1に記載の神経因性疼痛処置剤。

【請求項4】

前記神経因性疼痛が糖尿病、ウイルス感染、過敏性腸症候群、切断、癌、または化学傷害に関係する、請求項1に記載の神経因性疼痛処置剤。

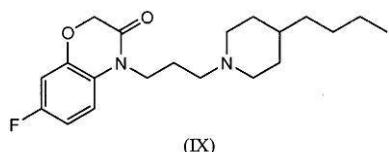
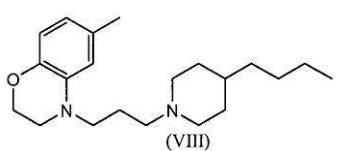
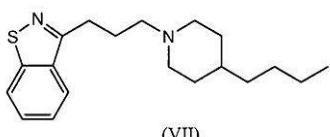
【請求項5】

M(1)受容体サブタイプを選択的に活性化する前記少なくとも1つの化合物が急性痛を緩和しない、請求項1に記載の神経因性疼痛処置剤。

【請求項6】

前記化合物が式VII、VIII、およびIX:

【化1】



の化合物からなる群より選択される、請求項1に記載の神経因性疼痛処置剤。

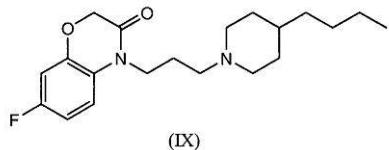
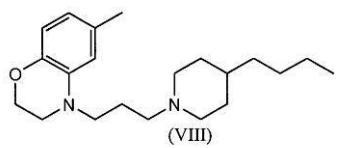
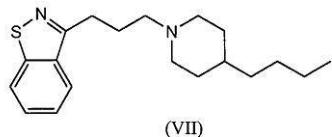
【請求項7】

神経因性疼痛の1以上の症状を軽減するのに有効な量でM(1)受容体サブタイプを選択的に活性化する少なくとも1つの化合物の有効量を含む医薬組成物。

【請求項8】

前記化合物が式VII、VIIIおよびIX：

【化2】



の化合物からなる群より選択される、請求項7に記載の組成物。

【請求項9】

対象における神経因性疼痛の1以上の症状を軽減するための医薬品の製造を目的とする、M(1)受容体サブタイプを選択的に活性化する少なくとも1つの化合物の有効量の使用。

【請求項10】

前記対象が痛覚過敏を呈する、請求項9に記載の使用。

【請求項11】

前記対象が異痛を呈する、請求項9に記載の使用。

【請求項12】

前記神経因性疼痛が糖尿病、ウイルス感染、過敏性腸症候群、切断、癌、または化学傷害に関係する、請求項9に記載の使用。

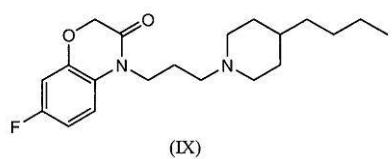
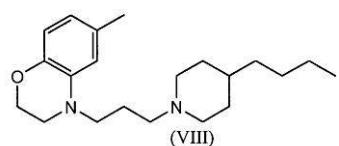
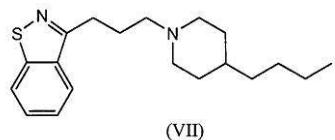
【請求項13】

M(1)受容体サブタイプを選択的に活性化する前記少なくとも1つの化合物が急性痛を緩和しない、請求項9に記載の使用。

【請求項14】

前記化合物が式VII、VIII、およびIX：

【化3】



の化合物からなる群より選択される、請求項9に記載の使用。